

5年生児童の保護者の皆様

苫小牧市立明野小学校長 谷川 充穂

平成27年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査について

向春の候、保護者の皆様におかれましては、ますますご清栄のことと拝察申し上げます。

また、日頃から本校の教育活動に対しまして、ご理解とご協力をいただき感謝申し上げます。

さて、今年度を実施しました全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果が北海道教育委員会から公表され、苫小牧市でも「ほ・む・す・く」(第12号2月付)にて苫小牧市の子どもたちの体力の状況が公表されました。

本調査は、子どもの体力の低下している状況にかんがみ、全国的な子どもの体力の状況を把握・分析することにより、子どもの体力の向上に係る施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、そのような取組を通じて、子どもの体力の向上に関する継続的な検証改善サイクルを確立するためのものです。

つきましては、本校5年児童の状況と考察をまとめましたので、次のとおりお知らせします。

記

1 検査の概要

(1) 実施日

平成27年6月

(2) 調査対象

小学校第5学年

(3) 検査内容等

① 実技に関する調査

握力、上体起こし、長座体前屈、反復横跳び、20mシャトルラン
50m走、立ち幅とび、ソフトボール投げ

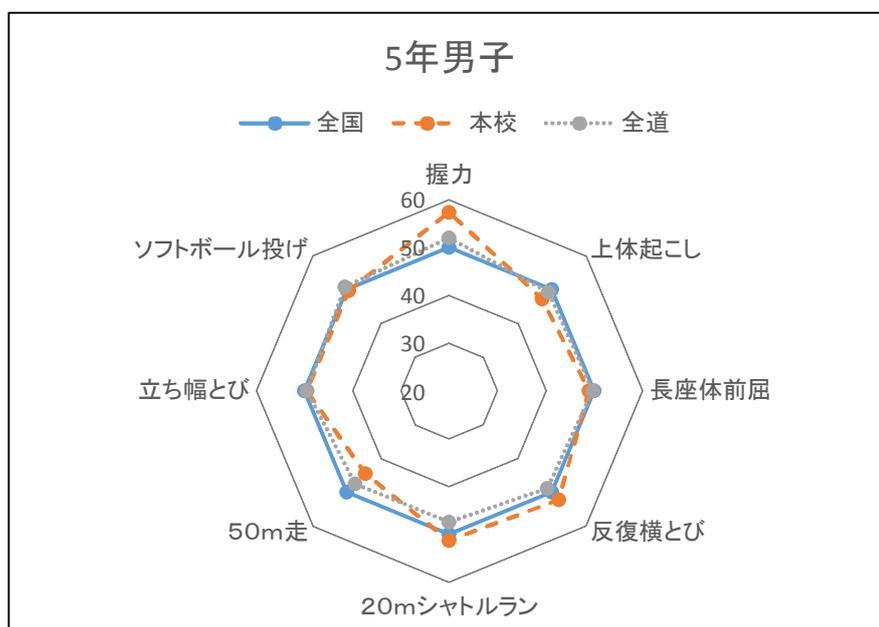
② 運動習慣等に関する質問紙調査

③ 学校に対する体力の向上に係る取組に関する質問紙調査

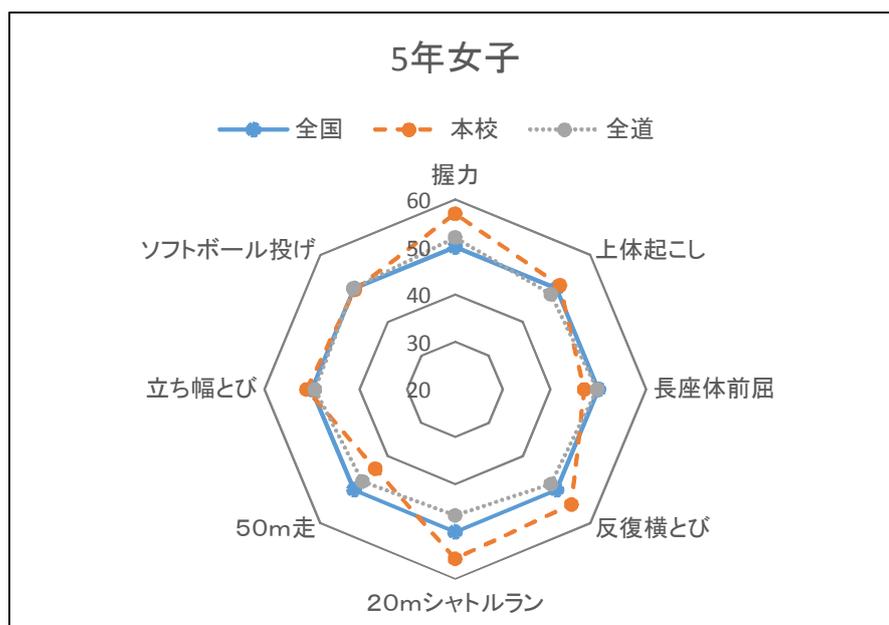
2 本校の傾向

(1) 実技に関する調査における全国・全道平均と本校の比較

①男子



②女子



* 比較の仕方 全国平均値(50)に対する本校の相対的な位置について示しています。

(2) 本校の傾向

①実技に関する調査

- ・昨年度は20mシャトルランの数値がどの種目よりも低く、以下に数値を上げるかが本校の課題であった。今年度は20mシャトルランに力を入れた結果、男女共に全国平均を大きく超えることができた。
- ・昨年度同様に握力・反復横とびは男女共に全国平均を上回っている。
- ・男女共に50m走が全道平均を下回っている。
- ・男子は上体起こし、女子は長座体前屈が全道平均を下回った。

②運動習慣に関する調査

- ・男女共に95%以上の子が、「運動が好き」、「やや好き」と答えている。
- ・体育の授業は楽しいかとの質問に、男子は93%、女子は96%の子が「楽しい」または「やや楽しい」と答えている。
- ・休み時間は、男子の77%、女子の31%が校舎外で遊んでいる。

3 学校の今後の取組

- ・現在取り組んでいる「さわやかリズム週間」を継続する。
- ・20mシャトルラン(持久走)が全国平均を超えたことから、現在行われているマラソン記録会などの取組を継続していく。
- ・全道平均を下回った50m走、上体起こし、長座体前屈を、体育の中で取り入れる。
- ・運動の楽しさを感じることができるように体力づくりや体育の学習を工夫する。
- ・学校内に、遊びの中で日常的に体力づくりを行える環境を整えていく。
- ・体力テストの結果を十分におさえ、日頃の体力づくりや運動の取組が、効果的な取組につながるようする。
- ・体力手帳等を通して、より一層、家庭と連携した取組となるようにする。